

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

GOVERNOR'S  
MONTHLY  
LETTER

# ガバナー一月信

2010.6/1  
Vol. 12



2009～2010年度 国際ロータリー第2650地区テーマ

# 育てよう、人

千玄室 裏千家今日庵大宗匠 ご染筆



ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2650  
2009～2010

## 目次●CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
退任にあたって(ガバナー補佐)	3～4
交代します(地区委員長)	5～7
RYLA開催／ 平城遷都祭にロータリーブース	8
規定審議会速報	9
ガバナーエレクトとノミネー紹介	10
4月会員数の増減と出席率表	11
月信編集室から	12



### ◇2650地区に栄光あれ



96クラブ4,885名の会員の皆さん、2009～2010年度最後の月にはいりました。

この1年間公式訪問を通して直接お会いすることができましたことは、私のロータリー人生において、最大の喜びでありました。皆さんのお支えによりましてなんとか職務を全うすることができ、心から感謝申し上げます。

年度はじめに地区のテーマとして「育てよう、人。」を設定し、機会あるごとに人材こそロータリーの財産であることを説いてまいりました。また「ロータリーの未来はあなたの手の中に」とジョン・ケニー会長のかかげられたテーマもひとえにロータリーの基盤はあなた方一人ひとりであることを示すものと考えております。

これからのロータリーはまさに「周囲から

信頼される人材」にあるといえるでしょう。「ロータリーに入りて学び、出でて奉仕する」の言葉どおり、私たちは社会に奉仕する人格として成長させていただくこととなります。今年度、私たちの地区は300名近い新入会員を迎えております。お互いに手を取り合ってロータリーを学び、ロータリーを通して成長することを願うものであります。

日本には34地区、2,310のロータリークラブがありますが、わが地区の出席率は90.89%（第2位）で燦然と輝いております。是非ロータリーの基本であります例会出席を励行し、ロータリーを楽しみ、ロータリーの輪につながり、豊かな職業奉仕の至福にあずかりたいものであ

ります。

この年度、私を支えてくださった13名のガバナー補佐の皆さん、23委員会の委員長はじめ、委員の皆さん、ガバナー事務所地区幹事56名の皆さん、寝食を忘れたご協力に心から感謝申しあげる次第です。

次年度、栗田ガバナーを中心に力をあわせて、2650地区の働きが一段と輝きますことを心から願うものであります。年度を締めるにあたりまして、地区内各クラブのご発展と会員各位のますますのご健勝をお祈り申しあげ、私のご挨拶といたします。

国際ロータリー第2650地区

2009～2010年度

ガバナー 富田 謙 三



## 退任にあたって（ガバナー補佐）

今期、公文俊一さん（京都北東）、勝見秀憲さん（守山）、荒木一寿さん（福井北）、乃根莊兵衛さん（敦賀）の4人のガバナー補佐の方々が退任されます。3年の任期を終えた方と次年度ガバナー事務所で副幹事長につくため2年で退任される方がおられますが、いずれもそのまま地区やクラブでお世話頂くことになっています。今後ともご活躍お祈りいたします。

### ロータリアンでよかった

公文 俊一



富田年度で3年間のガバナー補佐を終わらせていただきます。

クラブ会長をさせていただいた後、2650地区に出て 財団増進委員長3年、財団補助

金委員長4年、ガバナー補佐として初年度、橋本ガバナー“思いやり”、2年目川端ガバナー“次の世代にときめきを”、3年目富田ガバナー“育てよう、人。”の地区テーマのもと担当クラブをそれぞれ訪問させていただきました。地区委員長でクラブを訪問した時にはわからなかったクラブの内部を拝見して

色々学ぶ事が出来ました。

私にとりましてこの10年間は、多くのロータリアンとの出会いがあり、ロータリーを通して良い経験と勉強の機会を賜り、たくさんの感動を頂きました事、大変幸福でした。

只、一つ云わせていただくとすれば、ガバナー補佐の任期3年は長いように思います。2年にして、是非もっと多くの方にガバナー補佐を経験していただければと思います。

最後に会員皆様のご支援ご協力に感謝しております。

“ロータリアンでよかった” “ありがとうございます”

### 1670の瞳に感謝

勝見 秀憲



「もう一人のガバナー補佐が辞任した」と聞いたのは7月26日の大津RC幹事からの電話でした。その年度は滋賀県で2名であり私は湖東・湖北の11RC

の担当でした。しかも大津RCの公式訪問は8月6日と10日後に迫っていました。

「本当に勝見さん大津に来てもらえますね」と再三連絡をいただき、前日に届いた公式訪問資料を抱えて琵琶湖ホテルに行った事も懐

かしい思い出となりました。

最大イベントであり、一年にただ一度の公式訪問には、どのクラブもガバナーを迎えるに当たり、懸命の歓迎準備を計り、各会長はじめロータリアンの瞳（ひとみ）は燦然と輝いていました。そしてどの例会場にも私をJC時代より長い親交のある優しい瞳が待っていてくれました。

この三年間で、滋賀県内22RCで987名のうち、15RCの835名とお付き合いしたことになる。835名の瞳、1670の温かい瞳に感謝申し上げます、御礼のご挨拶と致します。



## 退任にあたって（ガバナー補佐）

### 財産は多くの知り合い



ガバナー補佐として、川端五兵衛、富田謙三、両ガバナーのお手伝いをさせて頂きました。

その間、これ迄になくロータリーを身近に

体験出来、貴重な経験を致しましたが、補佐役として充分であったかどうかと案じております。

何れにしても大過なく任期を終える事が出来ますのは何より地区、クラブの皆様のご協力のお陰と感謝致します。

当地区はクラブ数が多い為、公式訪問時のガバナーの忙しさ、大変さを再度実感致しま

### 荒木 一寿

した。それを精力的に対処されるガバナーのご活躍には敬服以外言葉が見当たりません。

合同公式訪問などの意見もありますが、実現はなかなか難しい様です。今後のガバナーのご活躍を祈念するばかりです。

補佐任期中には忙しさ、日々の重圧感などに悩まされ通しではありましたが、それ以上に経験出来たものの方が多かったと感じて居ります。

特に多くの知り合いを得た事は何よりの財産であります。

今は、補佐として充実した時間を過ごし得た事に感謝して居ります、有難うございました。

### 一灯照隅で



3年間の補佐任期中を無事終えることができ、心より御礼申し上げます。顧みて、補佐として本当にお役にたてたかどうか、自分の至らなさに忸怩たる思

いを禁じえません。反対に私自身、皆様との素晴らしい出会いを多く頂戴し、感謝の気持ち一杯です。

ところで、お釈迦様の弟子の一人で、30年間お釈迦様のおそばにいたアーナンダという方がいます。

ある時、彼がお釈迦様に尋ねます。「よき

### 刀根 莊兵衛

仲間に出会う事は、聖なる道の半場まで来たと思っていいのでしょうか」。お釈迦様は「アーナンダよ、よき友を得ることは聖なる道のすべてである。よき友を得るということは、闇の中で迷った時に、手を引いてくれる友人がいる。闇を照らしてくれる灯火になる。それをよき仲間という」とお答えになったそうです。

私はロータリーの素晴らしさは私心のない友情であり、絆ではないかと考えています。これからも皆様とのフェロウシップを大切に、“一灯照隅”であり続けたいと思っています。

3年間本当に有難うございました。



## 交代します (地区委員長)

地区委員長では、地区の組織再編により委員会が統合されたり、別の委員会になったりするのを含めて10人の委員長が交代されます。ほとんどがなんらかの形で地区委員会に残っていただいておりますが、うち9人の委員長に交代するにあたっての言葉をいただきました。

### 会員増強・拡大委員会 武田 敏夫 (京都伏見 RC)



本年度は、4月の委員会開催を皮切りに、5月にアンケート実施、6月にセミナー会議開催、8月、9月を中心に全クラブの卓話、さらに全グループの地域別会議を開催いたしました。

卓話や会議は、“入会の意義”や“会員増強の現状”をテーマとし、一人ひとりが増強

の意義を理解してロータリーを次代に継承していく熱意を持つと語り合いました。また、会員増強の課題である年齢・性別・国籍への差別と向き合うことで、より魅力的なクラブ作りを目指す努力をして参りました。

会員増強は、次年度またその先へと続く取り組みです。本年度副委員長の杉本氏に来年度の委員長を続けていただきます。更なる会員増強をがんばっていただきたいと思います。

### ロータリー情報委員長 奥村 照夫 (京都八幡 RC)



“光陰矢のごとし” 年を重ねる毎に誰しもが一年の早さを感じるものです。桜花が去り新緑とともに初夏を迎えます。富田ガバナーの地区テーマ

「育てよう、人。」未来への成長をもってロータリーの年輪に刻まれます。育てることはそだてられること。ロータリーの出会いは友情を越え、感動と活力を与えてくれます。だか

らこそ一期一会、この一瞬を奉仕と親睦に邁進したいものです。年間活動として委員長会議、アンケート調査、セミナー、卓話等での現況や思いを各クラブに配信し、活用を奨励しました。石の上にも3年と言われます。委員会所属5年、委員長3年、短期間に中身の濃い勉強をさせて頂きました。その間、関係各位の皆様にはご指導ご協力賜りありがとうございました。感謝を申し上げ任務を終えさせていただきます。

### 財団奨学金・財団学友・世界平和フェロシップ委員長 渡邊 倫久 (京都洛北 RC)



パイロット地区への移行期にあって、年度をまたぐ当委員会事業への影響は大きく、対応に奔走する一年でした。予算制度の変更により、選考済みの奨学金受領予定者に対しては予定の資金を確保できなくなり調整が難航しました。

また、申請方法の変更の結果、ロータリアンが自らオンラインでの申請を行うことになり、この際教育機関の入学許可証の提出も必要な為、従来の募集活動や選考会を行うことが出来ず、皆様にはご迷惑をお掛けしました。その他多くの不具合が生じましたが、これを機にロータリーが行うべき奨学金制度について新たな議論を始めるべきかと思っております。



## 交代します (地区委員長)



### GSE委員長 河地 妙美 (京都西南 RC)

次年度よりパイロット地区となることで、G.S.E. (研修グループ交換) 事業は思いがけず本年度をもって最終回を迎えることになりました。約半世紀に亘って実施されてきた由緒ある事業であるだけに、クラブやG.S.E.の諸先輩の方々からは惜しまれる声もあり、懐かしい良き思い出の数々や苦労話などを聴かせていただきました。これらを貴重なアドバイスとして受け、委員会としても年度初めよ

り一層の責任感と幾分緊張をもって、総仕上げに相応し締めくりたいという思いでスタートしました。

本年度は第3820地区フィリピン・パタンガスをパートナーとしての派遣・受け入れの事業となりましたが、約一カ月の間、双方のホストクラブに多大なご尽力をいただき、若い職業人の団員には生涯忘れえぬ貴重な体験と学習の機会となったことと確信しています。今や財団学友となった彼らからの報告、今回の成果についてはまもなくお知らせする予定です。



### 社会奉仕委員長 戸所 岩雄 (彦根 RC)

社会の構造や人の価値観に大きな変化が生じる中、奉仕をする側、受ける側の意識にも変化が起きていると言われていきます。ロータリアンにとって奉仕とはどんな意味をもつのか。混迷の時代であるからこそ、人の絆を確かなものにす

る手立てが単に友愛や親睦ではなく共通の奉

仕の理念に基づくものであると再認識するのも意義があると思います。  
生きることの意味の軽重さが問われ人々の絆が弱まることを憂うのならカウンターとして、今一度真摯に「奉仕とは？」を考えるのも大切かなと思いながら委員長を勤めさせて頂きました。この一年間、大変いい経験の機会を頂いたことに感謝します。有難うございました。



### ローターアクト委員長 安居 継彦 (彦根 RC)

地区のローターアクト委員長をさせていただいて、ありがとうございました。もとより、私どもには過ぎた大役でありまして、十分に職責を果たすことはできませんでした。富田ガバナーを始め、地区役員の皆様には本当にお世話にな

りありがとうございました。アクトの皆さんと一緒に活動する事が出来、私自身も影響を受け、変わったように思います。また、アクターの皆さんが成長する姿を目の当たりにして、ロータリーの精神、プログラムを見直した思いです。ロータリーは素晴らしい。このような機会に恵まれ全てのロータリアンに感謝いたします。



## 交代します (地区委員長)

### 世界社会奉仕委員長 貴志 英生 (福井東 RC)



地区主催のWCSであるミッションを、富田ガバナーのご承認を受けキリバスと定め活動してきました。ほぼ毎月の委員会開催、長崎そしてフィリピンでの会議出席、WHOとの協議、JICAとの調整、業者との打合せ、そして1週間にわたるキリバスでの下見を経て、ようやく形になっていきました。

実際のミッションは現地空港閉鎖となり38名の参加者はキリバスの地を踏むことはできませんでした。ただ、先発メンバーにより、結果的には計画通り本事業は遂行できました。

個人的にはロータリーの理解を深め、奉仕を实践する行動力を多少は身につけることができたかなと思っています。理解を深めれば深めるほど、この世界社会奉仕事業が世界に誇れる活動と覚えてなりません。

### ロータリー国際交流委員長 中窪 啓司 (平城京 RC)



①友情交換プログラムでは沢山の思い出と友人が出来ました。このプログラムに参加して頂いた皆さんは、それを実感して頂いたのではないかと思います。

②また、平井年度にハワイR.I.D.5000と地区同士の友好提携を実現でき、その後、短期青少年交換、相互に相手地区の地区大会

に参加、両地区内のクラブ同士の姉妹提携等を通じて両地区の交流が継続、発展していることを大変嬉しく思います。

③最後の任務として国際大会推進につきまして、より多くロータリアンの皆様に参加して頂くよう、初体験であるブースでの展示が成功するよう努力します。

④今後、地区内で奉仕の成果を広げ、それが世界の奉仕とつながることを祈念して退任の挨拶に替えさせていただきます。



数年間、地区米山奨学委員会に所属し、この度退任する事になりました。ご協力有難うございました。

米山奨学事業は、大きく分けて奨学生の選考、奨学資金の寄付増進、お世話です。この数年、世界同時不況の影響で寄付金が減少し続け、米山奨学事業も縮小に至るのではと恐れています。奨学資金増進

### 米山奨学委員長 佐野 幸男 (大津 RC)

には米山事業への深いご理解が求められ、委員長さんのご理解推進が必要不可欠と感じています。

毎年、代わられる方が多いとはいえ、事業へのご理解が少ない方がおられるのは残念ではありません。奨学事業への理解はまず世話クラブになり、奨学生と実際に接し、積極的に話しかける事です。きっと今まで感じなかった何かが見えてくると思います。



## RYLA開催／平城遷都祭にロータリーブース

### ◇青年職業人対象に「一人前の大人」に

地区新世代委員会は4月23日から25日までの2泊3日の日程で、奈良県天理市の天理大学、天理教母屋を会場に、18歳から30歳までの青年職業人を対象に「一人前の大人」をテーマにした2009～2010年度RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）を開きました。

100人を超える受講生を中心に地区役員・委員、各クラブ新世代担当者ら約230人が参加。23日午後から開講式が天理教第38母屋で行われ、オリエンテーションやロータリアンセミナーを受けたあと、早速、第一講。

2日目は母屋周辺の散策などもあり、天理



大学に会場を移して第二講とジャーナリスト・桜井よしこ氏の第三講。

3日目は再び母屋に戻り、元内閣総理大臣の安倍晋三衆議院議員が「今若者に思うこと、そして為すべきことは何」をテーマに第四講。このあと閉講式があり、参加者それぞれが帰路につきました。

### ◇ロータリーブースオープン

2650地区奈良県内13クラブによる「平城遷都1300年祭」の平城宮跡会場交流広場での「国際ロータリー案内ブース」が、4月24日から5月9日までの春季フェアの間開催され、多



くのロータリアンにご利用いただきました。このブースは、ロータリアンやその家族に対し、会場内のことやイベントなどについて案内するもので、奈良県内13クラブが交代で担当することになっています。

次回は秋季フェア期間の10月9日から11月7日までの土日祝日に開催いたします。是非とも多数ご利用下さい。また、会場内講堂にて移動例会を開催していただくことも可能です。会場の予約、奈良文化財研究所の講師の手配、弁当の手配もさせていただきます。お問い合わせはファックスもしくはメールで奈良大宮RCまで。

FAX：0742-33-8583

Mail：info@naraomiya-rc.jp



### ◇四大奉仕が五大奉仕に 新世代加えて

3年に一回開かれる国際ロータリーの立法機関、規定審議会が今年4月25日から30日まで、ロータリー発祥の地であるアメリカ・イリノイ州シカゴで開催されました。世界の531地区から選出された代表議員が地区やクラブから出された200を超える立法案を審議しました。

今回、採択された主な立法案を紹介します。7月1日までにクラブの定款を変更して立法案どおり実施するクラブもありますが、RIからの連絡を待って定款を変更するクラブもあるようです。

#### ■採択された主な立法案 次のとおり

- 直前会長がクラブの役員ならびに理事会のメンバーとなる
- 出席免除の会員の年齢が65歳以上の条件が加わる。
- 会員身分の終結に会員として持つべき高い倫理基準を追加（敦賀RC提案）
- 新世代を含めて五大奉仕部門とする  
クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に新世代奉仕を加える。  
これは、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化をもたらされることを認識するものとされている。
- 人頭分担金が増額
- 1地区のクラブ数が33、あるいは会員数が1200名未満の地区は境界の廃止あるいは変更
- ロータリーの第二標語「They profit most who serve best」が「One profits most who serves best」に変更されます  
もともとは「He」から始まりましたが、女性の入会が認められてから「They」になりました。そして、こんどは「One」です。特定の性別を示唆するものでなく、また「He/She」より混乱を招きにくいとされています
- ロータリーの諸活動に関する根源的な指針となっている「決議23-34」の第1項を奉仕の哲学の定義として使用する



# ガバナーエレクトとノミネー紹介

2010～2011年度ガバナー栗田幸雄氏を紹介します。

2011～2012年度、2012～2013年度ガバナーも決まっているので、簡単に紹介しておきます。

## ガバナーエレクト



福井北R.C.  
**栗田 幸雄**

国際ロータリー第2650地区  
2010～2011年度 ガバナー  
ガバナーエレクト

生年月日  
1930年(昭和5年)4月6日

最終学歴  
東京大学法学部 卒業

職業分類  
国際交流

### ロータリー歴

#### 【クラブ関係】

- 1984年 …… 福井北ロータリークラブ入会
- 2004～2005年 …… 会員増強委員長
- 2005～2006年 …… 国際奉仕委員長
- 2006～2007年 …… 会長エレクト・副会長  
クラブ管理運営委員長
- 2007～2008年 …… 会長(R.I.会長賞・R.I.会員増強推進計  
画賞・米山功労クラブ37回目受賞)

#### 【その他】

- 1993年 …… 米山記念奨学会功労者
- 1996年 …… ボール・ハリス・フェロー

### 職歴

- 昭和30年4月 …… 自治庁 入庁
- 昭和49年7月 …… 自治省税務局市町村税課長
- 昭和51年9月 …… 自治省税務局固定資産税課長
- 昭和52年6月 …… 福井県副知事
- 昭和62年4月 …… 福井県知事
- 平成 3年4月 …… 米価審議会委員(平成11年6月まで)
- 平成 6年4月 …… 政府税制調査会委員(平成12年7月まで)
- 平成15年4月22日 …… 福井県知事退任(4期16年)
- 平成15年5月22日 …… 財団法人福井県国際交流協会会長
- 平成15年7月27日 …… 福井県立大学名誉客員教授

### 賞罰

- 平成16年11月 …… 旭日大綬章受章

## ガバナーノミネー



京都南R.C.  
**今西 信裕**

国際ロータリー第2650地区  
2011～2012年度 ガバナー  
ガバナーノミネー

生年月日  
1940年(昭和15年)  
3月7日

最終学歴  
慶応義塾大学  
経済学部 卒業

職業  
株式会社 今與  
代表取締役社長

職業分類  
貴金属卸売



大津R.C.  
**河本 英典**

国際ロータリー第2650地区  
2012～2013年度 ガバナー  
ガバナーノミネー

生年月日  
1948年(昭和23年)  
7月3日

最終学歴  
慶応義塾大学  
商学部 卒業

職業  
綾羽株式会社  
代表取締役社長

職業分類  
資材繊維



## ■会員の動き

### ◇4月の新入会員

クラブ	氏名	職業分類
京都	中尾 一和	医学教育
京都	津田 博朗	蒸留酒製造販売
京都東	小野 恭平	リネンサプライ
京都洛北	仮家 道隆	レストラン
京都洛北	北原 茂樹	観光旅館
京都洛西	西山 弘高	貿易業
京都田辺	前 直明	喫茶
あすか	清水 徹	運輸
五條	井本 誓晃	学院経営
平城京	藤岡 將悟	呉服販売
奈良	中野 聖子	ホテル
奈良	吉田 保喜	旅行業
奈良東	野口 創	鍼灸師
福井あじさい	小原 弘明	サービス・自由業
福井フェニックス	森 恵司	仏教(日蓮宗)

クラブ	氏名	職業分類
丸岡	高倉 文寛	洋菓子製造・配布
敦賀西	高橋伊佐美	プラント建設
五個荘能登川	木村 宏	重量鉄骨設計施工 各種金属加工溶接
湖南	澤田 淳	新聞販売
大津	大江 徹	旅行企画斡旋
栗東	小林善一郎	競馬会
高島	岸田 皓介	土木
八日市南	野口 章生	自動車修理

### ◆弔意 謹んでお悔やみ申し上げます

橿原RC(名誉会員) 恒岡 新一様 5月3日 ご逝去 94歳  
 奈良東RC 松井 淳次様 5月4日 ご逝去 62歳  
 京都RC 稲岡 宗傳様 5月7日 ご逝去 85歳  
 橿原RC 南野 寛二様 5月14日 ご逝去 81歳

## ■2010-11年度ガバナー事務所についてのお知らせ

昨年9月から、2009～10年度第2650地区ガバナー事務所ホームページをご覧になっていただきありがとうございました。次年度も、ガバナー事務所は同じ場所で地区の事務をしていくことになっており、住所やFAX番号、ホームページアドレスはそのままです。

新しい代表電話番号、Eメールアドレスなどお知らせしておきます。

- ・代表電話番号 075-353-2650
- ・FAX番号 075-343-2651 (変更なし)
- ・Eメール gov2010-11@rid2650.gr.jp
- ・ホームページ <http://rid2650.gr.jp> (変更なし)

なお、7月1日までは、現事務所にあるエレクト事務所(075-353-2650)で連絡がつかますし、すでにアップしておられますホームページは現在のホームページからリンクできます。

## ■平井パストガバナーが叙勲



平井義久パストガバナーが2010年春の叙勲で食料品加工業振興への功績により、旭日中綬章を受章されました。おめでとうございます。

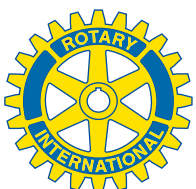
平井パストガバナーは2006-2007年度当地区ガバナー・(株)西利会長。

## ■編集後記

○「ありがとうございました」

月信発行は総集編を残してこの号で終わりです。「読んでいただける月信」をモットーに編集してきたつもりですが、いかがでしたでしょうか。

一番悩んだのは、締め切りとの関係で、毎月1日までに届かないと、数字等はもともと2か月も遅れているので、どうしようもありません。なんとか、どの号も間に合ったようです。各クラブのご協力ありがとうございました。



Kyoto/Nara/Fukui/Shiga

# R.I.D.2650

2009-2010

国際ロータリー第2650地区

2009-2010年度 ガバナー 富田 謙三

■ガバナー事務所

〒600-8216 京都市下京区塩小路通烏丸西入東塩小路町614

新京都市センタービル5階520号室

Tel.075-343-2650 Fax.075-343-2651

E-mail:gov09-10@rid2650.gr.jp